

主要事項

1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

近年の局地的な集中豪雨による中小河川の水害に対処するため、最新の IT を活用して関係機関と観測データ・情報の共有化を図るとともに、集中豪雨の予測精度を向上し、都道府県と協力して新たに都道府県管理河川の洪水予報を実施する。(水防法改正関連) また、台風や集中豪雨等の気象現象を迅速かつ的確に把握し、大雨警報等の防災情報の充実・高度化を図るため、次期静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備を行う。

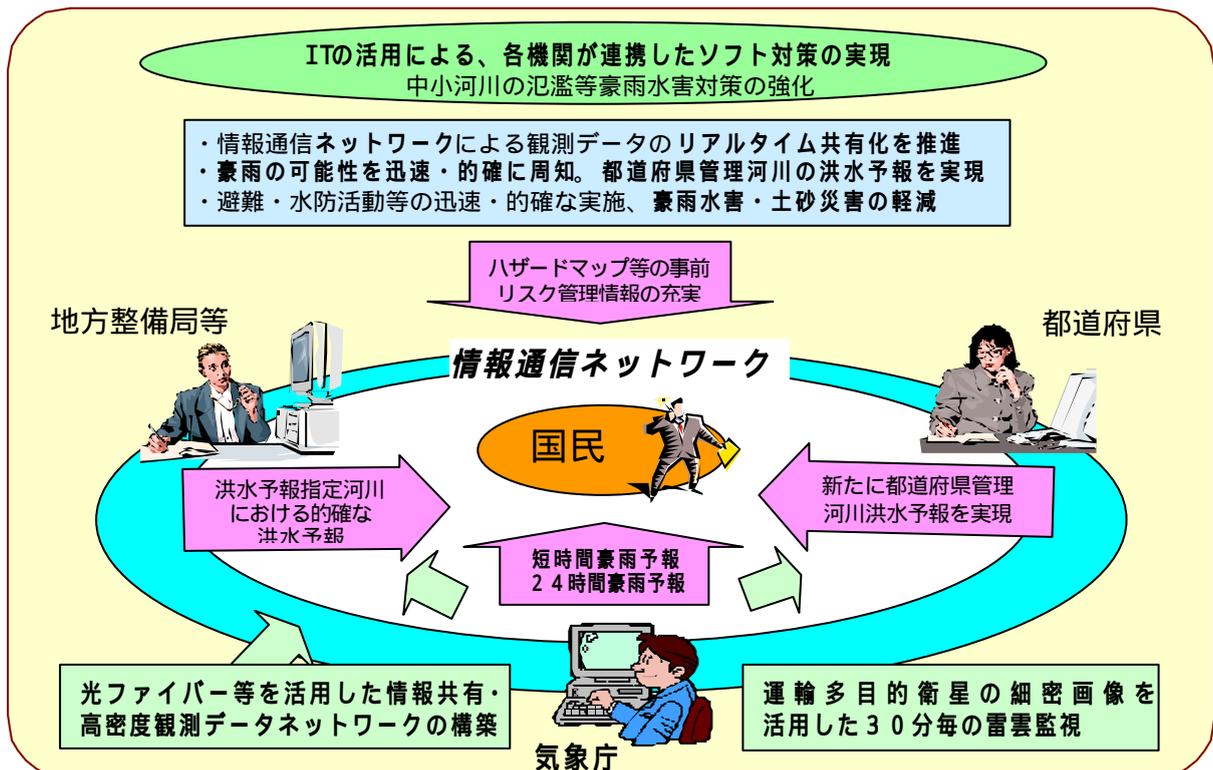
2. 地震対策の強化

地震災害の防止・軽減を図るため、東海地震等の地震・津波に関する防災情報を迅速かつ的確に提供する地震活動等総合監視システム及び地震津波監視システムの改良更新を推進する。

3. 気候変動・地球環境対策の強化

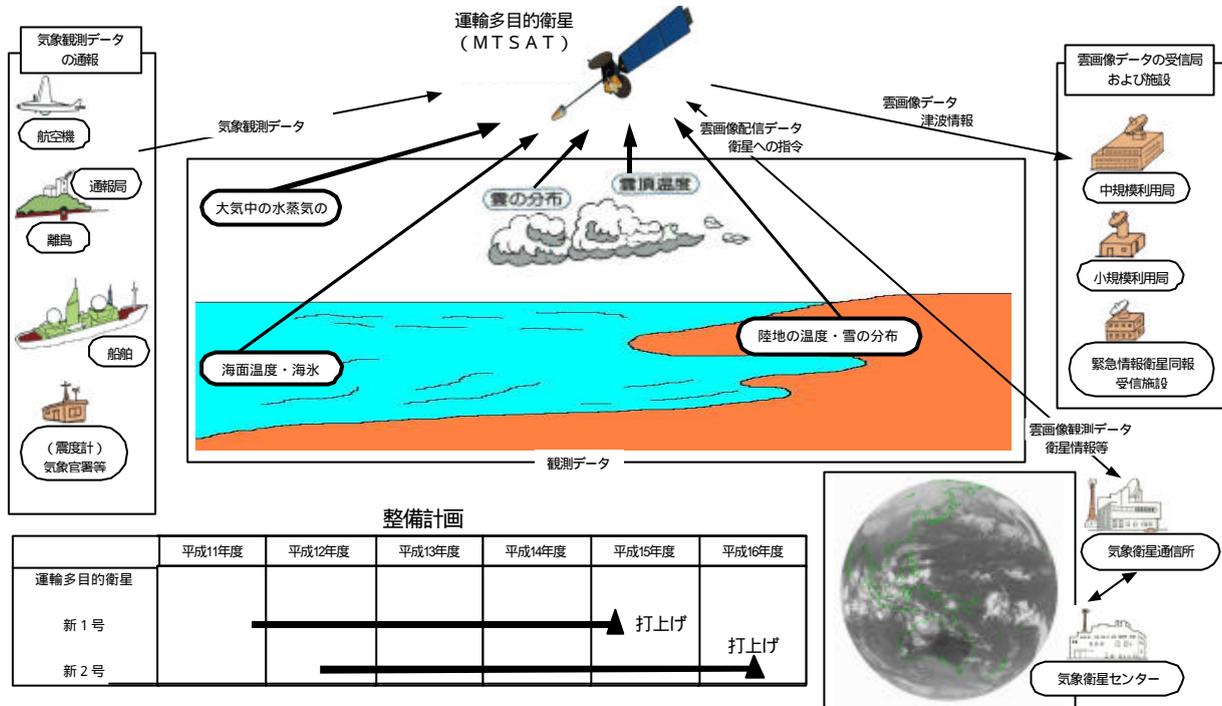
地球温暖化などの気候変動・地球環境問題に対応するため、アジア太平洋地域の気候変動・地球環境に関する総合的なセンター機能を整備するとともに、地球温暖化予測技術の高度化を推進する。

	(前年度予算)
	百万円
1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化	4,860
(1) 豪雨水害・土砂災害対策の強化 【構造改革特別要求】	4,307 (3,499)
・豪雨水害対策情報ネットワークシステムの整備	824 (0)
・広域防災気象情報提供システムの整備	788 (0)
	36 (0)



		(前年度予算)	
		百万円	百万円
(2) 静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備	・運輸多目的衛星新1号の整備	(債) 4,860	
		3,483	(3,499)
		2,525	(2,840)
	・運輸多目的衛星新2号の整備	(債) 4,860	
		958	(659)

運輸多目的衛星による静止気象衛星システム概念図

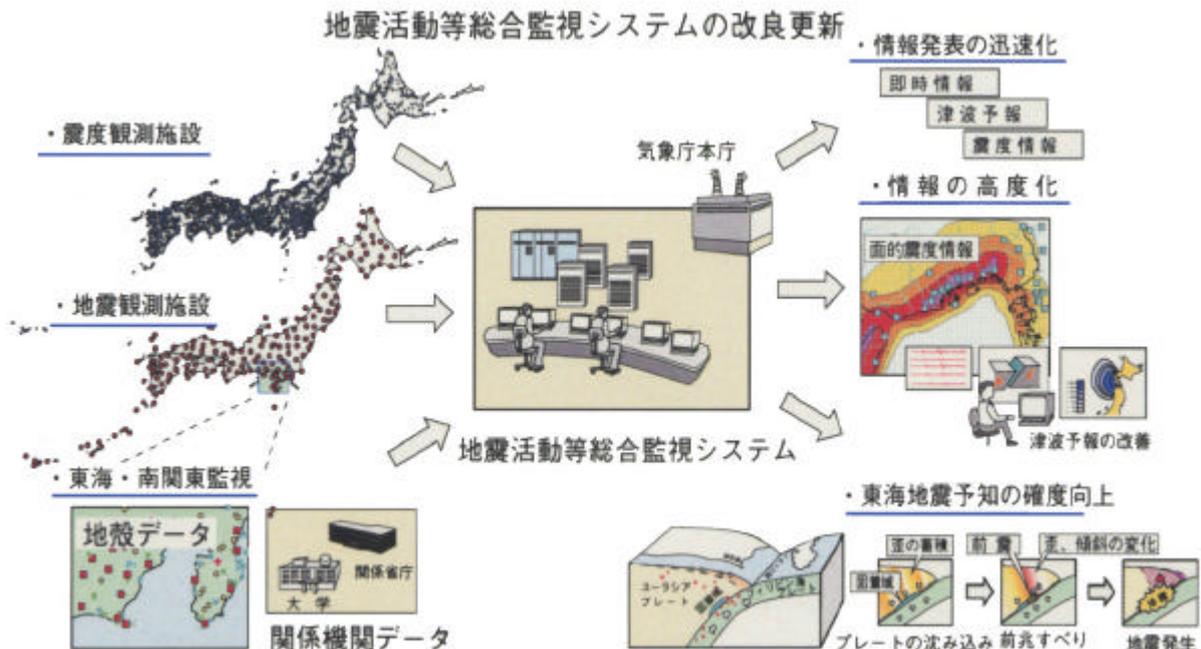


2. 地震対策の強化

東海地震等地震津波監視体制の強化

- (1) 地震活動等総合監視システムの改良更新
- (2) 地震津波監視システム(ETOS)の改良更新

(債)	115	
	28	(35)
(債)	115	
	0	(0)
	28	(35)



	(前年度予算)	
	百万円	百万円
3. 気候変動・地球環境対策の強化	156	(31)
(1) アジア太平洋気候環境センター業務体制の整備	125	(0)
【構造改革特別要求】		
(2) 気候変動予測研究	31	(31)

